



南アフリカ通信

No.16(2023.11)

JICA 海外協力隊 (2022 年度 1 次隊)
小学校教育 北川裕介



11 月下旬現在、南アフリカの学校では 4 学期のテスト期間の真っ最中です。つまり、今年度最後のテストが行われています。今回のテストは次の学年に進級できるかどうかが決まる大事なテストです。もちろんこれまでの期末テストの結果も反映されますが、最後のテストの結果が一番影響力があるようです。

さて、そのテストが始まる前の 11 月上旬に卒業式と卒園式が行われました。新型コロナウイルス感染拡大後初めての開催でした。子どもたちも保護者も先生も久しぶりに実施できたこと、無事に式を行うことができたこと、そして何よりみんなが楽しく笑顔であったことがうれしかったようです。私もとてもハッピーな気持ちになりました！

7 年生の卒業式 & 年長さんの卒園式



Grade R (年長さん) の子どもたちはアカデミックドレスを身にまとっています。とても誇らしげな様子ですね！



卒業証書授与
一人一人写真を撮ってもらい嬉しそう！記念品のカバンももらえました。



全員 (約 150 名) で記念撮影！
7 年生はオリジナル記念 T シャツを着ることが恒例のようです。



ダンスをしたり、合唱をしたり、演劇をしたりして大盛り上がり！おうちの人の前で堂々と披露する姿がすてきでした。ファッションショーまであったのでとても驚きました。



卒業式の後はごちそうが振る舞われます！5 時間にわたって行われたので、みんなお腹がペコペコです。



先生たちも調理員さんたちも朝から大忙しでした。ごちそうの準備のために、ブライ (BBQ のこと) をしてお肉を焼いたり、パップやおかすを作ったりしていました。



ちなみに、この辺りの学校では 7 年生の卒業証書授与を行っていないそうです。上記の通り、留年の可能性があるからです。ぜひ最終試験を突破して進学できることを願っています。



世界トイレの日 -World Toilet Day-



11月19日は何の日か知っていますか？

「世界トイレの日」です！

2001年11月19日に「世界トイレ機関」が創設され、「世界トイレサミット」が行われました。その後、2012年に国連が「トイレに関する問題を世界の人々がもっと考え、少しでも改善していく」ことを目的に制定しました。

2022年時点で、世界のおよそ3人に1人(約28億人)が基本的な衛生施設(主にトイレ)を使うことができておらず、SDG(持続可能な開発目標)6でもこの問題を解決することが定められています。



6 安全な水とトイレ
を世界中に



SDG6.2

2030年までに、すべての人々の、適切かつ平等な下水施設・衛生施設へのアクセスを達成し、野外での排泄をなくす。女性及び女子、ならびに脆弱な立場にある人々のニーズに特に注意を払う。

<シロアム村のトイレはどんな感じ？>



学校のトイレは水洗ではありません。便器の下には穴が掘ってあり、用を足すとそのまま下に落ちていきます。



手を洗う蛇口はトイレ小屋から少し離れた場所にあります。子どもたちの中にはうっかり手洗いを忘れる子も…。



下に掘ってある穴が排泄物でいっぱいになったら、別の場所に新しく穴を掘り、小屋も立て直すそうです。



村のほとんどの家庭は外にトイレがあります。家の敷地内にあるとはいえ、少し離れた場所にあるので、特に夜に行きたくなったら、明かりがないのでとても大変で、危険です。

トイレがあるのは当たり前？ もしトイレがなかったら？使いにくかったら？

トイレがない人たちはバケツやビニール袋に排泄したり、地面に掘った穴や草むら、道端、川などで野外排泄をしたりしています。野外排泄は水や土壌を汚染するため、病気にかかって学校へ通えなくなったり、仕事ができなくなったり、命を落とすことになったりします。

また、思春期の女の子の場合、野外排泄は不衛生で生理に対応できないうえ、見知らぬ人から嫌がらせや暴行を受ける可能性もあって特に危険なため、学校を休みがちになったり、中退したりしてしまうことが少なくありません。このように、「トイレがない・使いづらい」ことはとても深刻な問題であり、貧困の悪循環にもつながる問題なのです。

日本でも「トイレが足りない・無い・使えない」という状況は容易に起こりえます。さて、どんな時でしょうか？

ぜひ自分事として、この問題について考えてみてほしいです。